



主な記事

1. 第3回「かながわ医療機器レギュラトリーサイエンスセミナー」開催報告
2. 研究の現場から～「植物保護と植物を使ったものづくり」平塚和之 大学院環境情報研究院教授
3. 医療 ICTに関する座談会 開催報告 第79回～第81回
4. 第11回 平成29年度医療 ICT シンポジウム (SMICT2017-II) 開催のご案内
5. 編集後記



第3回「かながわ医療機器レギュラトリーサイエンスセミナー」開催報告

～医療機器に関する国際連携とビジネス～

2017年10月6日(金)、横浜三井ビル15階会議室にて、神奈川県と横浜国立大学主催の第3回「かながわ医療機器レギュラトリーサイエンスセミナー;医療機器に関する国際連携とビジネス」を開催しました。今回のセミナーは、本学が神奈川県から受託している「かながわ医療機器レギュラトリーサイエンスセンター事業」の取り組み状況を一般に公開すると共に、「医療機器に関する国際連携とビジネス」について参加者と共に考える機会を共有する為に開催しました。

本事業は平成26年度に神奈川県から受託し民間企業や研究機関、それに医療機器申請の第三者認証機関などと連携して実施して来ており、本年度も、医療ヘルスケアのイノベーションの創出に向けて、55の民間企業や関係機関の参加を得て活発なコンソーシアム活動を推進しており、実際のビジネス展開に結びつく、アジア、欧州、中近などへのグローバル展開も始めています。

中でも、フィンランドは本学が長年にわたり医工連携を核にして協力関係を構築してきており、オウル大学のキャンパス内に「海外協働教育研究拠点;国際ブランチ」を一昨年に開設し、学部・大学院生の相互交流プログラムを進めています。

当セミナーにはそのフィンランドから在日日本フィンランド大使館のペッカ・ライティネン参事官とオウル市の前副市長シニッカ・サロ氏初め関係者の出席を得、来賓挨拶や基調講演を頂きました。

また、中国からは上海交通大学附属病院の趙晋華(Jinhua Zhao)先生を招待し特別講演を頂きました。上海交通大学はこれまで横浜市立大学医学部を通じて本学に医師の研究員を受け入れるなど交流を深めて来ており、中国との連携にも力を入れています。

セミナーの前半は、事業の核となるコンソーシアム活動の進捗状況報告を行いました。事務局から全体の活動概要を報告した後、3つの分科会「複合ICT医療システム分科会」、「ヘルスケア医療機器分科会」、「医療ロボティクス分科会」の各主査から、民間企業に対する研究開発やビジネス展開の支援状況などについて報告しました。

後半は、「医療機器に関する国際共同研究開発とビジネス」と題したパネル討論を行いました。パネルのコーディネーターは横浜国立大学河野隆二教授、

パネリストはビジネスオウル Olli LÖytynoja 副局長、横浜市立大学医学部石川義弘教授、富士フィルム(株) 山川直也氏、コンソーシアム会員、本学教員等で構成されました。



県政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室杉山室長代理(最前列)と80余名の聴講者



左から:長谷部勇一学長(主催者挨拶)、シニッカ・サロ氏、ペッカライティネン氏、Olli LÖytynoja 氏、河野隆二教授



来賓挨拶
フィンランド大使館ペッカ・ライティネン参事官